

一般質問から

平成27年第1回定例会の一般質問は、3月17日、18日、19日の3日間にわたり、15人の議員が37項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは、5月下旬に更新予定のホームページをご覧ください。



※議員名の上の番号は、議席番号を示しています。

水道管の老朽化について

Q ①水道管の法定耐用年数は40年ですが、市内全域にわたり、この年数を超えるものはないと考えるのか②市へ通報があった漏水件数について③漏水の点検は、どのように行われているかについて④水道管の漏水や給水装置の故障に対し市として24時間・年中無休の電話相談体制の実施について

A ①法定耐用年数を超えている水道管延長は、3万5661メートルで水道管総延長に対する割合は8・9パーセントです。②平成26年度は、2月末時点で通報が58件。この内訳は配水管が14件、給水管が44件

11番 前田 貞子

となっており、これらの漏水修理は、すべて完了しております。③市内全域を6分割して、6年間で全域が調査できるように範囲を設定し、順次、該当区域を調査。調査方法は、道路上では配水管等の埋設位置に漏水探知機を当て音聴により漏水の有無を調査。宅地内では、量水器等に簡易音聴棒を当て異常音の有無を確認し漏水の早期発見に努めております。④水道部では、緊急に対応が必要な漏水や故障に対して24時間・年中無休の体制で臨んでおります。

HPVワクチン接種者健康調査について

Q 市内でもHPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)接種後、後遺症が残るおそれがある副反応被害者が出たという報告があった。これらの副反応は接種後、すぐに出る場合もあるが、接種者の35パーセントは半年以上かけて出現し、中には接種後2年以上経過後、出ているケースもある。

接種後、ワクチンとの因果関係が分からず、体調不良に悩む被害者救済のために、同年代の未接種者を含む健康調査を実施し、実態把握に取り組む自治体もある。八潮市での実施予定について伺う。

3番 矢澤 江美子

A 副反応については、国が新たに3つの方策(協力医療機関を各県に少なくとも1つ整備、受診の際、副反応報告が確実にされるよう要請、副反応報告があった場合、症状のその後の状況等の追跡調査の強化等)を講じている。副反応報告も「接種医は、被接種者に対して接種後に対象症状が出た場合は、医療機関に相談するよう依頼」等々、強化されている。実施している自治体も少ない為、独自に実施する予定はない。

観光行政について

Q まもなく完成するやしお駅前公園をイルミネーションで飾り、八潮市の冬の観光名物として人を招き入れることを考えて頂きたい。

A 近年、LED照明の普及を背景に、各地の駅前や大型の公園、商業施設等において、様々なイルミネーションが行われ、まちの活性化に役立てられています。多くの方がイルミネーションの美しい灯りを楽しむだけでなく、長くその場所に滞留し、何度でも来たいと思えるように各主催者の創意工夫のもと行われています。

15番 中嶋 善文

クスプレスの車内から駅前公園の多くを見ることの出来るロケーションの良さから、本市内でイルミネーションを実施する場合は、その候補地に挙がると考えます。駅前公園完成後、利用状況や施設の特徴を確認し、イベント開催の際の音や光、周辺道路の違法駐車問題、その周辺にお住まいの方々への影響等も考慮し、イルミネーションを含めた各種イベントについて、(一社)八潮市観光協会及び八潮市商工会等の関係団体と検討していきたいと考えております。

小中一貫教育について

Q 家庭学習についてお伺いします。

A 平成26年4月に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査では、本市の児童生徒の実態として全国平均より平日に3時間以上テレビ・ビデオを見たり聞いたり、コンピュータやスマートフォンを使ったゲームをする。また、家での宿題をしないという結果が出ております。

7番 篠原 亮太

と捉え、家庭学習の定着を重視した取り組みを展開しているところがございます。課題として、家庭への協力依頼を一層図るとともに、家庭学習の質の向上や、児童生徒の努力の評価を担任が適宜行うなどがございます。

小・中学校の実践をさらに充実・深化させることができるよう学校を支援してまいります。

市民の健康増進策の現状と取組みについて

Q 健康手帳(健康づくりパスポート)の普及方法および活用方法についてお伺いいたします。

A 健康手帳は、各種検診や健康教室等の参加時などに交付しております。基本的には、40歳以上の方で保健センターの事業を受けた方に交付し、特定健診を受診する方に、委託医療機関で希望者の健康に携わっていただくため、希望される若い方にもお配りしております。

6番 林 雄一

ございますが、健康教室の受講の際、受講記録、検診記録を記入していただいております。

また、健康手帳の内容は、記録の他に生活習慣病についての基礎知識や生活習慣病を予防するヒント、女性特有の症状、医療機関への上手なかかり方等の情報も掲載されています。

常時、携帯していただき、健康に困った時に、ご覧いただければ、ご自身の健康に役立つものとなっております。